実践例　栃木市立栃木第四小学校

教科・科目等　社会科（５学年　37 名）

本時の目標

被災した地域、人々の生活の様子や産業を復興させてきた様子を調べ、自分の考えを深めることができる。

育てたい資質・能力等

被災した地域や人々が、偏見や差別を受けながらも生活や産業を復興させてきたことを考えることができる。(感受性)

教材　・教科書　・資料集　・図書資料　・NHK for school
・東日本大震災に関する資料（産業復興資料集）
・文部科学省×学校安全
（文科省学習作成資料「東日本大震災の教訓を語り継ぐ動画教材」）

展開

●災害の様子だけではなく、地震の被害を受けた原子力発電所の事故により根拠のないうわさや偏見、差別など心ない嫌がらせを受けたことをおさえるようにする。
●被災した地域、人々の生活の様子や産業を復興させてきた様子を調べる。
●被災した人々の生活を支える防災や減災の取組、国や県、市などの取組、被災した人々が生活や産業を復興させてきた取組について知る。
●調べたことをもとに考えたこと（取組に携わった人々の願いなど）をグループ、全体で共有する。

←学習の様子

児童の感想

・被災した人々は、辛い環境の中でも自分のために、地域のために頑張って街づくりをしてきたことが分かり、心がとても強いと思いました。
・震災のおそろしさを感じました。二度と同じ経験をしないように、防災や減災の考え方、取組がとても大切だと学びました。